大阪フロイデニュース

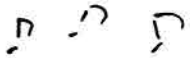
Freude

vol. 7-25 2015. 12. 2 wed

いちばんよい
響きのために
いろいろためします?

大阪フロイデ合唱団　Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ http://www.osakafreude.com
メールアドレス info@osakafreude.com

シューベルト「ミサ２番、３番」の練習CD キーボーディストのツブヤキ



ホンマ、うつくしいし、ココロに沁みます。
なんていうのかなあ、情に訴えてくるものがあるのよね。
そして、なんといってもびっくりするのは、２番と３番、それぞれ全然ちがうってこと！
その違いをどうしてもお喋りしたいので、ここで、プチ「ミサのおさらい」。
ミサは一般的に、下記の６曲で構成されます。
モーツァルトの戴冠ミサ、KV275 ミサも、また、シューベルト２番ミサ３番ミサも同様。

①Kyrie（主よ、憐れみたまえ）
②Gloria（神の栄光、<u>世の罪をあがなう子羊</u>、主のみ神なり！）
③Credo（信仰宣言！主は唯一の神！　<u>受難場面</u>、復活そして…）
④Sanctus（聖なるかな！<u>オザンナ！</u>）
⑤Benedictus（ほむべきかな！<u>オザンナ！</u>）
⑥Agnus Dei（神の子羊、憐れみたまえ miserere、<u>平和を与えたまえ Dona nobis pacem</u>）

で、ここでモーツァルトのミサを思い出してもらいたいのですが、
詩の内容を受けて、１つの曲の中でも「音楽の感じを変えてる部分」を作ってるのがありますよね。例えば上記の下線部分、Credo の「受難場面」、Sanctus や Benedictus の「オザンナ」、Agnus Dei の「平和を与えたまえ」。
で、その扱いが！シューベルトは２番と３番で、全然違うの！

（ウラ面に続く）

12/2(水) 18:30～ 堀江アルテ

12/4(金) 運営委員会

12/6(日) 13:15～ 西区民センター（西長堀）地下鉄 → 鶴見緑地 → 大阪ヒューマニティパーク

地図は前号ニュース

二万人の第九 チラシ配り 大阪城ホール

17:30 ムラッカから まえはじめ

各自チラシをもっていく。

12/9(水) 18:30～ 堀江アルテ

12/16(水) 18:30～ 堀江アルテ

３番は「音楽の感じを変化させてる部分をつくってる」というところでいうと、モーツァルトに近い感じです。
Credo の受難はもちろんゆ～っくり。しかも、Gloria の「世の罪をあがなう子羊」部分までも「ゆっくりテンポの中間部」にしてます。意外なのが Sanctus と Benedictus の「オザンナ」。音楽の感じは変わるものの、テンポや調までは変えてなくて、サラっとしてます。と、思っていたら、Agnus Dei は、やってくれました！「平和を与えたまえ Dona nobis pacem」になった途端、拍子もテンポもガラっと変わって、ソロと合唱がからみながら何度も何度も「Dona nobis pacem」を連呼！ モーツァルトに似てるっ！？

それに比べて、２番は全然ちがうっ！
Credo も Agnus Dei も曲の間は、ずっとおんなじテンポ。
テンポを変えているのは Sanctus と Benedictus の「オザンナ」のみ。とはいえ、その「オザンナ」の変え方が尋常では無いくらい、いきなりテンポ快調のプチ・フーガになってるの。（３番ミサの「オザンナ」が、それほど「テンポや調を変えているわけでは無い」ので、シューベルトは２番と３番で「変化をつける曲」を対照的にしたのかなあって思ったり、、、。）で、つまり、Gloria も Credo も Agnus Dei も基本的に音楽の感じは変えずに行っちゃってます。「じゃあ単調で退屈なんじゃない？」いえいえ、これがなんとも！
特に、Credo！筆者は、正直、こんなに美しい涙が出そうな Credo は初めて！メロディの大きな意味でのカタチは最初から最後まで同じで淡々と合唱がすすんでくのですが、微妙な和音進行や強弱が絶妙で、却って胸に強く迫ります。例えば、イエスが十字架につけられる場面のいきなり超フォルテ！は、なんとも胸がはりさける感じ、でもって、復活場面を経て、音楽はまた静かなトーンで続くのですが、本当に、はしゃがず、しみじみとありがたい感じなの。美しすぎて、歌いながら泣くかもしれません！
それと、涙ものは Agnus Dei！これも最初から最後まで音楽の感じは変わらず、オーケストラを間にはさみながら「ソロに続いて合唱」というカタマリが３回、という構成。で、何が涙かというと、最初の２回は「憐れみたまえ（miserere）」で、最後の１回だけが「平和を与えたまえ（Dona nobis pacem）」なんです。Dona nobis pacem 連呼の３番ミサやモーツァルトとは全く違う。でも、それだけに、その一箇所に凝縮された Dona nobis pacem が、ココロに沁みるのです m(_)m
ああ！美しい！涙ちょちょぎれっ！でも、聴かないとわからない、もう、ホンマ！ぜったい聴いて！ぜったい歌って！シューベルトミサ２番、は、「私の好きな曲」のアンケートで書いてしまいそうです＼(◎o◎)／！